

宇和島市の 財政状況

平成26年度の決算状況を
お知らせします。

今回の決算（普通会計 ※1）では、歳入から歳出と翌年度に繰越さなければならぬ財源（4.0億円）を差し引いた実質収支は、6.0億円の黒字決算となりました。また、職員数の削減など引き続き財政基盤の強化に努めてきたことなどにより、各種財政指標はおおむね改善しています。

しかしながら、この改善の大きな要因の1つは地方交付税の交付水準が回復・維持されていることにあります。税収の状況が厳しい中、合併に伴う普通交付税などの特別措置も減少していくことになるため、更なる「持続可能な財政運営」に向け、より一層の行財政改革の推進に努めます。

歳入総額 437.1億円
前年度比 13.2億円(2.9%)減

歳出総額 427.1億円 前年度比 15.9億円(3.6%)減

	自主財源 ※2		依存財源 ※3		目的別歳出		性質別歳出		義務的経費 ※6	投資的経費	その他経費
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合			
地方税	79.0億円	18.1%	地方交付税	175.2億円	40.1%	民生費	140.7億円	32.9%	人件費	60.2億円	14.1%
諸収入	14.4億円	3.3%	地方債	30.9億円	7.1%	公債費 ※4	56.8億円	13.3%	扶助費	81.3億円	19.0%
その他	24.1億円	5.5%	国庫支出金	68.3億円	15.6%	総務費	46.9億円	11.0%	公債費	56.8億円	13.3%
			県支出金	31.6億円	7.2%	衛生費	40.8億円	9.6%	投資的経費 ※5	63.9億円	15.0%
			その他	13.6億円	3.1%	農林水産業費	23.8億円	5.6%	補助費等	54.3億円	12.7%
						土木費	56.0億円	13.1%	繰出金	52.4億円	12.3%
						教育費	37.7億円	8.8%	物件費	35.0億円	8.2%
						その他	24.4億円	5.7%	その他	23.2億円	5.4%

歳入

地方税などの自主財源は117.5億円で、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は319.6億円となっています。自主財源については、自主財源の柱である地方税が増加（1.0億円増）に転じ、またふるさとつわじま応援寄附金などの影響でその他の収入が増加（5.3億円増）した一方、病院事業会計貸付金の減少などによる諸収入の減少（6.5億円減）により、前年に比べ減額（0.2億円減）になっています。

全体としては、地方交付税が微増（0.6億円増）となった一方、大規模な普通建設事業が前年度で完了したことに伴い地方債（8.6億円減）や国庫支出金（5.1億円減）が減少したことなどから、前年に比べ減額（13.2億円減）になっています。

歳出

人件費・公債費などの義務的経費が198.3億円で、普通建設事業費などの投資的経費が63.9億円、繰出金・物件費などのその他の経費が164.9億円となっています。義務的経費については、非正規職員の待遇改善などによる人件費の増加（1.8億円増）と繰上償還額の増加などに伴う公債費の増加（0.1億円増）により、前年に比べ増額（1.9億円増）となっています。

全体としては、中央学校給食センター整備事業などが前年度で完了したことなど、投資的経費が減額（19.6億円減）したことにより、決算規模は前年を下回っています。

おもな市有財産の状況

▷土地	28,289千㎡	▷債権	8,700万円
▷建物	476千㎡	▷基金 ※7	123億1,200万円

▶おもな財政指標の推移

財政の余裕（経常収支比率）

財政の弾力性を示す指標で、

$$\frac{\text{経常的な支出 (人件費・公債費など)}}{\text{経常的な収入 (市税・普通交付税など)}}$$

で算出します。

比率が低いほど財政的な余裕があるとされています。合併後、人件費の抑制に努めてきましたが、扶助費の増加傾向が続いているため、比率は横ばいで推移しています。

(単位：%)

H22	H23	H24	H25	H26
86.3	89.2	89.7	87.2	87.5

市の貯金（財政調整基金）

市はさまざまな目的のために、資金を積み立てたり運用したりしています。その中でも財政調整基金は、予期しない歳入の減少や歳出の増加に備えて積み立てている基金です。

平成26年度は、財政調整基金へ10.2億円の積立をしました。

(単位：億円)

H22	H23	H24	H25	H26
35.9	39.4	44.4	48.9	59.1

市の借金（市債残高）

市が借り入れる資金は、将来にわたって使用できる施設や設備を整備するための財源になり、大きな事業をするためにはどうしても必要な財源です。

今後も、将来の負担が過大にならないよう、適切な市債残高の管理に努めます。

(単位：億円)

H22	H23	H24	H25	H26
433	397	372	360	339

▶各会計の決算状況

市は一般会計のほか特定の事業についての経理を明確にするため、11の独立した会計（特別会計）を設置し、国県支出金や使用料などにより運営しています。

(単位：百万円)

会計名		歳入	歳出	差引額	会計のおもな役割
一般会計		44,141	42,853	1,288	市の一般的行政経費に関すること
特別会計	国民健康保険（事業勘定）	11,600	11,368	232	国民健康保険業務に関すること
	国民健康保険（直営診療施設勘定）	246	246	0	へき地（離島など）の国民健康保険業務に関すること
	後期高齢者医療	2,105	2,066	39	後期高齢者医療に関すること
	介護保険（保険事業勘定）	9,613	9,584	29	介護保険業務に関すること
	介護保険（介護サービス事業勘定）	73	72	1	介護予防サービス業務に関すること
	財産区管理会	42	27	15	御槇・清満・畑地の各財産区の管理運営
	土地取得事業	9	8	1	公共用地の取得に関すること
	住宅新築資金等貸付事業	39	334	△295	住宅新築資金などの管理業務（貸付は終了）
	簡易水道事業	328	328	0	簡易水道の管理運営
	公共下水道事業	1,719	1,718	1	公共下水道施設の施設整備・管理運営
小規模下水道事業	64	64	0	漁業集落排水施設の施設整備・管理運営	

▶ 財政健全化に関する指標

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全性に関する指標を算出しました。

健全化判断比率と資金不足比率（※9）は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。また、

基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。

市の比率は次のとおりで、早期健全化・財政再生の基準を超えるものではありません。また、平成25年度よりも減少・改善しており、実質公債費比率、将来負担比率ともに県平均を下回っています。

健全化判断比率

(単位：%)

区分	H24	H25	H26 (速報値)	H26 早期 健全化基準	財 政 再生基準	H26県平均 (速報値)
実質赤字比率（※10）	赤字なし	赤字なし	赤字なし	11.98	20.00	赤字なし
連結実質赤字比率（※10）	赤字なし	赤字なし	赤字なし	16.98	30.00	赤字なし
実質公債費比率（※11）	11.1	10.0	8.3	25.0	35.0	10.0
将来負担比率（※12）	59.7	34.2	9.6	350.0		40.0

< 用語解説 >

- ※1 普通会計 … ほかの地方公共団体との財政比較や統一した把握を容易にするための地方財政統計上の会計区分で、本市の場合は「一般会計」・「土地取得事業・住宅新築資金等貸付事業の各特別会計」を1つにまとめたものです。
- ※2 自主財源 … 市税や使用料・手数料などの市が自ら調達できる財源。「自主財源」の割合が高いほど、自主性と安定性のある予算を組むことができます。
- ※3 依存財源 … 国や県の意思により定められた額で、交付されたり割り当てられたりする財源。
- ※4 公債費 … 市債（市の借金）の返済に充てた経費。
- ※5 投資的経費 … その支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに使われる経費。
- ※6 義務的経費 … その支出が義務づけられており自由に節減できない経費。通常は人件費・扶助費・公債費の3つの費目が該当します。
- ※7 基金 … 特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けられる資金や財産。

- ※8 標準財政規模 … 地方公共団体が通常水準の行政サービスを行う上で、必要とされる一般財源の額。
(平成26年度=265.8億円)
- ※9 資金不足比率 … 公営企業ごとに、資金不足額をその企業の事業規模で割った比率です。(経営健全化基準20.0%) 公営企業会計(水道事業会計ほか5事業会計)について、資金不足はありません。
- ※10 (連結)実質赤字比率 … 一般会計など(連結実質赤字比率は全会計)を対象とした実質的な赤字の標準財政規模(※8)に対する比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。
- ※11 実質公債費比率 … 一般会計などで借りた市債の償還金と公営企業などが借りた市債の償還金に対する一般会計負担の合計額の標準財政規模に対する比率で、どれだけ借入金返済に使われているかを示す指標です。
- ※12 将来負担比率 … 公営企業や土地開発公社なども含め、市が将来負担しなければならない実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、将来財政を圧迫する度合いを示す指標です。

病 院 事 業

▶損益計算書（内訳）

（単位：千円・％）

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
宇和島病院	医業費用	10,981,061	86.7	医業収益	11,317,357	92.0
	給与費	5,246,532	41.5	入院収益	7,499,883	61.0
	材料費	2,850,738	22.5	外来収益	3,204,053	26.0
	減価償却費	1,178,763	9.3	その他医業収益	613,421	5.0
	その他医業費用	1,705,028	13.4	医業外収益	964,350	7.8
	医業外費用	740,846	5.9	受取利息及び配当金	17,122	0.1
	支払利息	267,133	2.1	長期前受金戻入	376,659	3.1
	長期前払消費税償却	44,783	0.4	その他医業外収益	570,569	4.6
	その他医業外費用	428,930	3.4	特別利益	20,862	0.2
	特別損失	935,487	7.4			
	合計	12,657,394		合計	12,302,569	

当年度純損失 354,825千円

▶損益計算書（病院事業合計）

（単位：千円・％）

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
宇和島病院	医業費用	13,043,509	86.0	医業収益	13,366,759	91.0
	給与費	6,503,801	42.9	入院収益	8,776,199	59.7
	材料費	3,114,684	20.5	外来収益	3,859,664	26.3
	減価償却費	1,359,614	9.0	その他医業収益	730,896	5.0
	その他医業費用	2,065,410	13.6	医業外収益	1,227,901	8.4
	医業外費用	814,895	5.4	受取利息及び配当金	16,460	0.1
	支払利息	284,783	1.9	長期前受金戻入	461,226	3.2
	長期前払消費税償却	52,823	0.4	その他医業外収益	750,215	5.1
	その他医業外費用	477,289	3.1	特別利益	90,431	0.6
	特別損失	1,298,687	8.6			
	合計	15,157,091		合計	14,685,091	

当年度純損失 472,000千円

※病院事業内での取引を相殺調整しているため、合計とは合致しません。

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
吉田病院	医業費用	882,265	78.5	医業収益	858,607	87.7
	給与費	581,044	51.7	入院収益	560,736	57.3
	材料費	100,203	8.9	外来収益	240,806	24.6
	減価償却費	69,370	6.2	その他医業収益	57,065	5.8
	その他医業費用	131,648	11.7	医業外収益	116,110	11.9
	医業外費用	35,508	3.2	受取利息及び配当金	23	0.0
	支払利息	14,730	1.3	長期前受金戻入	27,406	2.8
	長期前払消費税償却	2,634	0.3	その他医業外収益	88,681	9.1
	その他医業外費用	18,144	1.6	特別利益	4,310	0.4
	特別損失	205,058	18.3			
	合計	1,122,831		合計	979,027	

当年度純損失 143,804千円

▶貸借対照表（病院事業合計）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	17,912,957	固定負債	16,188,396
土地	1,198,298	企業債	13,404,452
償却資産	28,839,555	引当金	1,572,686
減価償却累計△	12,124,896	その他	1,211,258
建設仮勘定	0	流動負債	2,883,864
無形固定資産	11,767	企業債	701,103
投資	882,212	未払金及び未払費用	1,161,153
流動資産	9,763,433	引当金	713,442
現金預金	7,267,823	その他	308,166
未収金	2,329,849	繰延収益	1,360,485
貯蔵品	156,416	負債合計	20,432,745
その他	9,345	資本金	12,608,604
繰延資産	139,825	剰余金	△4,331,155
		資本剰余金	30,791
		利益剰余金	△4,361,946
		資本合計	8,277,449
資産合計	28,710,194	負債資本合計	28,710,194

▶患者利用状況

（単位：人・％）

病院名	入院患者延数	外来患者延数	病床利用率
宇和島病院	147,161 (403)	265,560 (1,088)	92.7
吉田病院	29,156 (80)	36,374 (149)	55.5 (79.9)
津島病院	31,343 (86)	50,139 (205)	64.6 (81.8)
合計	207,660 (569)	352,073 (1,443)	—

※患者数のカッコ内の数字は1日あたりの患者数です。
※病床利用率のカッコ内の数字は、休床数を除く病床利用率です。

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
津島病院	医業費用	1,180,183	85.7	医業収益	1,190,795	84.8
	給与費	676,225	49.1	入院収益	715,580	51.0
	材料費	163,743	11.9	外来収益	414,805	29.5
	減価償却費	111,481	8.1	その他医業収益	60,410	4.3
	その他医業費用	228,734	16.6	医業外収益	148,148	10.6
	医業外費用	39,248	2.8	受取利息及び配当金	22	0.0
	支払利息	3,627	0.2	長期前受金戻入	57,161	4.1
	長期前払消費税償却	5,406	0.4	その他医業外収益	90,965	6.5
	その他医業外費用	30,215	2.2	特別利益	65,259	4.6
	特別損失	158,142	11.5			
	合計	1,377,573		合計	1,404,202	

当年度純利益 26,629千円

※病院・水道・介護老人保健施設事業の損益計算書は平成26年度の1年間、貸借対照表は平成27年3月31日現在の数値です。
※様式は、地方公営企業法施行規則に基づいた独自様式です。

▶建設改良事業

改築事業、医療機械整備など 550,861千円（消費税込）

介護老人保健施設事業

▶損益計算書

(単位：千円・%)

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
	施設事業費用	310,473	88.7	施設事業収益	348,812	92.2
給与費	232,445	66.4	施設介護費収益	289,611	76.5	
材料費	27,470	7.9	通所水処理費収益	45,026	11.9	
経費	32,089	9.2	短期入所療養介護費収益	14,081	3.8	
減価償却費	18,328	5.2	その他事業収益	94	0.0	
その他施設事業費用	141	0.0	施設事業外収益	3,182	0.8	
施設事業外費用	9,996	2.9	受取利息	2	0.0	
支払利息	5,273	1.5	長期前受金戻入	1,287	0.3	
雑支出	4,723	1.4	その他事業外収益	1,893	0.5	
特別損失	29,234	8.4	特別利益	26,565	7.0	
合計	349,703		合計	378,559		

当年度純利益 28,856千円

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
	施設事業費用	273,124	88.4	施設事業収益	289,552	96.8
給与費	185,093	59.9	施設介護費収益	243,950	81.6	
材料費	9,540	3.1	通所水処理費収益	36,206	12.1	
経費	66,345	21.5	短期入所療養介護費収益	9,154	3.0	
減価償却費	11,897	3.8	その他事業収益	242	0.1	
その他施設事業費用	249	0.1	施設事業外収益	5,221	1.8	
施設事業外費用	15,719	5.1	受取利息	5	0.0	
支払利息	9,770	3.2	長期前受金戻入	2,586	0.9	
雑支出	5,949	1.9	その他事業外収益	2,630	0.9	
特別損失	20,275	6.5	特別利益	4,198	1.4	
合計	309,118		合計	298,971		

当年度純損失 10,147千円

▶貸借対照表 (介護老人保健施設事業合計) (単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	952,086	固定負債	620,367
土地	335,868	企業債	587,052
償却資産	1,725,247	リース債務	4,107
減価償却累計△	1,109,029	引当金	29,208
無形固定資産	700	流動負債	133,282
流動資産	118,651	企業債	65,530
現金預金	23,779	未払金及び未払費用	34,579
未収金	94,726	引当金	29,978
その他	146	その他	3,195
		繰延収益	93,419
		負債合計	847,068
		資本金	497,499
		剰余金	△ 273,130
		資本剰余金	0
		利益剰余金	△ 273,130
		資本合計	224,369
資産合計	1,071,437	負債・資本合計	1,071,437

▶施設利用状況

(単位：人・%)

		オレンジ荘	ふれあい荘	合計
入所者	延数	25,907	21,220	47,127
	1日平均	71.0	58.1	129.1
	利用率	94.7	96.8	95.6
通所者	延数	4,551	3,564	8,115
	1日平均	18.6	14.6	33.1
	利用率	93.0	73.0	82.8

水道事業

▶損益計算書

(単位：千円・%)

	費用の部			収益の部		
	科目	金額	%	科目	金額	%
	営業費用	1,944,465	94.4	営業収益	2,140,685	93.2
職員給与費	280,656	13.6	給水収益	2,066,416	90.0	
受水費	459,388	22.3	受託工事収益	2,002	0.1	
委託料	243,296	11.8	その他営業収益	72,267	3.1	
動力費	7,267	0.4	営業外収益	154,607	6.7	
修繕費	79,361	3.9	受取利息及び配当金	2,750	0.1	
材料費	2,830	0.1	他会計補助金	3,002	0.1	
薬品費	159	0.0	長期前受金戻入	144,698	6.3	
その他経費	133,520	6.5	雑収益	4,157	0.2	
減価償却費	706,980	34.3	特別利益	1,887	0.1	
資産減耗費	31,008	1.5	過年度損益修正益	3	0.0	
営業外費用	96,821	4.7	その他特別利益	1,884	0.1	
支払利息	96,160	4.7				
雑支出	661	0.0				
特別損失	19,460	0.9				
過年度費与引当金繰入額	17,443	0.8				
過年度損益修正損	1,766	0.1				
その他特別損失	251	0.0				
費用合計	2,060,746		収益合計	2,297,179		

当年度純利益 236,433千円

▶貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	11,935,932	固定負債	4,689,457
土地	644,176	企業債	4,600,209
建物	398,854	引当金	89,248
構築物	9,157,264	流動負債	571,797
機械・装置	1,596,812	企業債	429,838
車輜・運搬具	12,363	未払金	90,294
工具・器具・備品	14,324	引当金	21,766
建設仮勘定	112,139	その他流動負債	29,899
無形固定資産	368,588	繰延収益	2,296,747
流動資産	1,902,980	長期前受金	2,296,747
現金預金	1,577,068	補助金	971,047
未収金	302,976	工事負担金	713,702
貯蔵品	22,936	受贈財産評価額	453,450
		その他資本剰余金	158,548
		負債合計	7,558,001
		資本金	4,293,185
		自己資本金	4,293,185
		剰余金	2,356,314
		資本剰余金	2,055
		利益剰余金	2,354,259
		資本合計	6,649,499
資産合計	14,207,500	負債・資本合計	14,207,500

▶地区別配水量

(単位：m)

地区名	年間配水量	1日平均配水量
宇和島	6,925,507	18,974
吉田	1,120,000	3,068
三間	659,629	1,807
津島	1,674,549	4,588
合計	10,379,685	28,437